

2025 年 10 月 17 日(金)9:00 から CRT スタジオで収録

「ベストプラクティスのベンチマーキング」とは何ですか

開倫塾

塾長 林明夫

- (1)①「ベストプラクティスのベンチマーキング」とは、仕事をする上で、最良の実践例を探し出し、素直な心で学ぶことです
- ②「自分以外は、皆、師。素直な心で学ぶ」ことです
- ③「ベストプラクティスはどこにいるのか」を「見極める」のが、最も難しい
- (2)①「社内ベストプラクティスのベンチマーキング」
- ②「同業他社のベストプラクティスのベンチマーキング」
- ③「異業種のベストプラクティスのベンチマーキング」
- できるだけ簡単な形で取り入れ、「実験」、PDCA(Plan、Do、Check、Action 計画・実行・検証・修正)、更なる「実験」を繰り返し、自社に導入。
- (3)①これに加えて、さらに、大事なのは「Innovation：イノベーション」
- ②「様々なものを組み合わせて、今までにないものを創り、世に出すこと」
- ③「世の中に出す人」を「Innovator、イノベーター」「起業家」といいます。
- その代表が、「スティーブ・ジョブズ」です。是非、「伝記」をお読みください

3つの、ベストプラクティスのベンチマーキングの仕方、を学ぼう！

1. CRTラジオ栃木放送開倫塾の時間、10月18日(土)では、社会人、ビジネスマンの勉強の仕方として、「3つの、ベストプラクティスのベンチマーキングの仕方を学ぼう」をテーマにお話ししました。
2. (1) 仕事をする上で、様々な課題が浮かび上がってきます。そのたびごとに、どのようにしたらよいか、創意工夫を重ねることが求められます。
- (2) そんな時、自分の頭で考えることも大切ですが、さまざまな「経営課題」「テーマ」について、うまくやっている人はいないかを探し求め、素直な心で学ぶことも、社会人として大切だと考えます。
- (3) うまくやっている人、最高の結果を出している事例を、「ベストプラクティス」、それを、素直な心で学ぶことを、「ベンチマーキング」と呼びます。

3. (1) 問題は、「ベストプラクティス」、最高の実践例は、どこにあるのです。よく考えれば、「社内」「同業他社」「異業種」に存在するかもしれません。
- (2) その各々の「ベストプラクティス」を、「ベンチマーキング」、素直な心で学ぶ。「なぜ」「どのように」取り組んでいるのか、「プロセス」「手順」を学ぶ。
- (3) そして、できるだけ簡単な形にして、自分の所で、やってみる。これが、「ベストプラクティスのベンチマーキング」です。
- 「幸福の青い鳥」は、どこにいるのか。よくよく目を凝らして探せば、います。「社内」「同業他社」「異業種」にいます。そう考えます。
4. <3つの「ベストプラクティスのベンチマーキングとは>
- (1) 「社内ベストプラクティスのベンチマーキング」
- (2) 「同業他社のベストプラクティスのベンチマーキング」
- (3) 「異業種のベストプラクティスのベンチマーキング」
- 「ベストプラクティス」は、よく考えれば、3つあります。
5. (1) ○困っていること、課題があったら、自分で考える前に、「社内」「同業他社」「異業種」でうまくやっているところを、「目を皿のようにして」探し出し、「礼を尽くして」、「素直な心で」、しっかり学ばせていただきましょう。
- (2) ○「なぜ、このようにうまくやっているのだろう」と、うまくやっていることの「本質の理解」に徹することが大切です。
- (3) ○「ケチをつけない」「一切、批判しない」こと、「うまくやっていること」だけに注目。「素直な心で、学ばせていただく」
6. (1) 「学んだことを、自分の会社・職場で、できるだけ簡単な形にして、すこしずつ、素直な心で、実験、やってみる」。
- (2) PDCA を回してみる。そして、改善を繰り返し、「自分の担当する部署にふさわしいものを作り出す」。ゆくゆくは、「自分の会社なりのものを作り出す」。
- (3) これが、「ベストプラクティスのベンチマーキング」です。

2025 年 10 月 23 日（木）10 時 00 分